

ブラジル金融政策（2024年12月）

利上げ幅を1%ptに拡大し、通貨安とインフレ期待の抑制に本腰

2024年12月12日

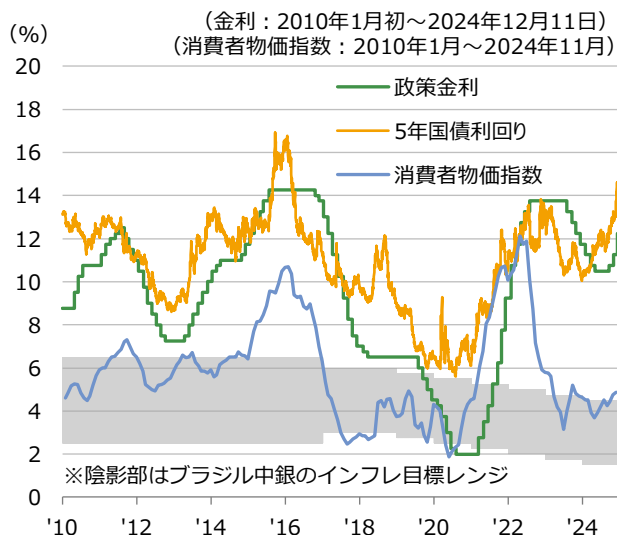
今後2会合での各1%ptの追加利上げも示唆

ブラジル中央銀行は12月10～11日（現地）に金融政策決定会合を開催し、政策金利を11.25%から12.25%に引き上げることを決定しました。利上げ幅は前々回の0.25%pt、前回の0.5%ptから1%ptに拡大しました。市場予想の0.75%ptを上回る利上げを決めたほか、今後2回の会合における同じ幅の利上げを示唆することで、通貨安の進行やインフレ期待の高まりを食い止める意志を明確に示したと言えます。

ブラジル政府は11月下旬に歳出抑制策を公表しましたが、その規模が市場の期待を下回ったことに加え、同時に所得税の非課税枠拡充案を示したことで、財政健全化に向けて懐疑的な見方が広がりました。金融市場では、財政悪化懸念の高まり→通貨安→インフレ期待上昇→金利上昇→財政悪化懸念の高まり→・・・という悪循環に陥りつつありました。ブラジル中銀としても以前からこの点を懸念しており、今回の声明文でも「最近の財政政策に関する発表は、金融資産の価格と見通し（特にリスクプレミアム）、インフレ期待、為替レートに大きな影響を与えている。委員会は、このような影響がインフレ率を一段と悪化（上昇）させる要因になっていると判断した」と表現しました。

財政政策の不透明感が残っていますが、ブラジル中銀は大幅な利上げによって通貨安を阻止することで、上述の悪循環を断ち切り、通貨高→インフレ期待低下→金利低下→財政悪化懸念の一部緩和→通貨高→・・・への転換をめざしていると考えられます。今回の決定と方針を受けた金融市場の反応に注目です。

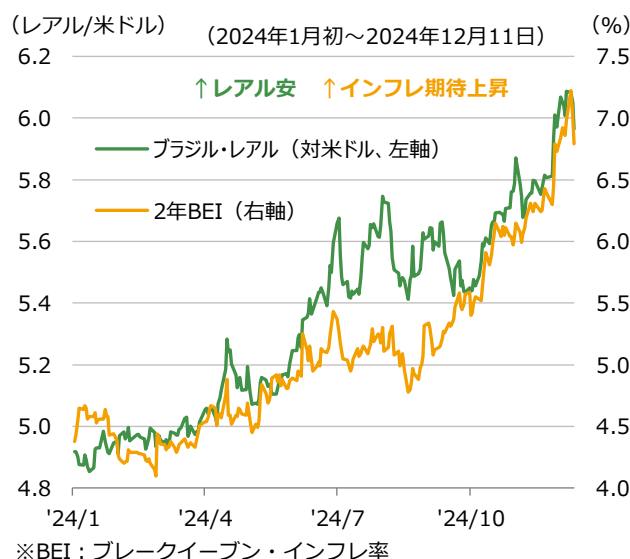
ブラジルの金利とインフレ率



※消費者物価指数は前年同月比

(出所) ブルームバーグ、ブラジル地理統計院、ブラジル中央銀行

ブラジル・レアル（対米ドル）とインフレ期待



(出所) ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management